

萩の湯だより 11月号

NO. 87

発行日 令和6年11月01日

作成者 長沼 雄三



住所 東京都台東区根岸2-13-13
JR山手線鶯谷駅徒歩3分 JR日暮里駅徒歩8分
電話 03-3872-7669
HPアドレス <http://haginoyu.jp/>
営業時間 朝湯 6:00~9:00 (最終受付 8:30)
11:00~深夜 1:00 (最終受付 0:30)

料金 大人550円 小学生200円 幼児100円
サウナ プラス300円 (土日祝400円)
タオルセット 100円

リンスインシャンプー・ボディーソープ無料
定休日 第3火曜日 (祝日の場合翌日水曜)

11月18日(月)~20日(水)3連休します。
11月18日~11月20日まで緊急メンテナンスのため3連休します。何卒ご了承ください。

11月14日(木)は台東区にお住まいの65歳以上の方、無料です。
高齢者無料開放は11月14日(木)です。当日は必ず身分証明書をお持ちください。証明書がない場合は無料での入浴ができません。台東区内にお住まいのお客様に限ります。

11月24日(日)は生レモン湯
11月24日の日曜日は生レモン湯です。愛媛県から取り寄せた収穫したての国産レモン40キロを薬湯、露天風呂に使用します。

レモンの精油成分でお肌すべすべ、柑橘系の香りでもリフレッシュしてください。当日は先着2,000名様にヤクルトを差し上げます。

11月26日(日)じゃばら湯
東京都公衆浴場のイベントです。愛媛県内子町産じゃばらの香りをお楽しみください。

*オーナーのコラム

「隣の芝生は青く見える」という言葉を感じたことは誰にもあると思います。私自身も小学生のころ、衰退していく銭湯業界を見て、バブリーな周りの友達の親の商売を羨ましく思ったことが何度も。しかし大人になるにつれ、銭湯業界の古い体質や経営の仕方に疑問を感じ始め自分がやれば何か変えられるのではないかと自信が湧いてきました。2001年に東上野の寿湯を継ぎ、営業日数や営業時間の拡大、手ぶらセットや店頭での案内POPの作成、HPやアルバイトの雇用などで改革をしていき、2006年には1日のお客様来店数が継いだ当初の1.8倍くらいになりやっと軌道に乗ってきました。そうすると周りの見方が大きく変わってきます。当時いた社員やアルバイトからは私みたいに風呂屋に生まれてきたかっただと言われることが多くなりました。合羽橋の間屋や台東区内のコンビニ、蕎麦屋などに生まれてきた人に言われるのです。継いだ頃は「風呂屋なんて大丈夫なの？」と哀れみの目で↑

薬湯の予定

11月

1	金	イヨシコーラ	16	土	シャンパン
2	土	ボジョレー	17	日	椿の香
3	日	ホットハーブ	18	月	定休日
4	月	ルイボスティ	19	火	定休日
5	火	万田酵素	20	水	定休日
6	水	生緑茶	21	木	ボジョレー
7	木	ひのき	22	金	乾燥ラベンダー
8	金	椿の香	23	土	イヨシコーラ
9	土	生姜エキス	24	日	生レモン湯
10	日	ボジョレー	25	月	ホットハーブ
11	月	パインアメ	26	火	じゃばら
12	火	実宝湯	27	水	シャンパン
13	水	リンゴ	28	木	万田酵素
14	木	乾燥ラベンダー	29	金	生緑茶
15	金	玉露カテキン	30	土	椿の香

*上記は実宝湯・生緑茶、ラベンダー、ルイボスティ、生レモン、じゃばらを除き全て入浴剤を使用します。

露天風呂 15日硫黄泉

↓見られたり、心配されたりしていたのに、そこを凌いで安定してくると、青くみられる立場になるのです。そういう中で感じたのは私がもしこれから先、再び青く見える立場になったとしても見える相手は努力しているからこそ、その立場なので、羨ましがらずに、同じようになるために相手から良いところを真似て盗んで、自分のものにしていこうということです。最近では銭湯業界でも多角化の経営が求められ、様々な工夫をする銭湯が増えてきました。クリーンなイメージがあるのでいろんな業界とコラボして広告の発信場所になったり、銭湯グッズの販売をして若い世代から支持されたり、どんどん銭湯が変化していきます。私よりも若い経営者が増え、時代に付いていくのが難しくなってきましたが、私の周りには支えてくれる多くのスタッフがいますので彼らに次世代の萩の湯を引っ張ってもらおうと考えています。昔は1人で突っ走ることが多かったですが、ここまで来ると私一人では出来ないことが多いので、皆で力を合わせて、もっと真似される銭湯を作っていきたいですね。